

私の一般質問より

ふるさとと川河川槻川改修工事は無駄！

町としても反対しなくても反対しにくい困った事業では・・・

渋谷 都幾川ふるさと川モデル事業河川改修の概要は。

答え ふるさと川モデル事業はの事業である。槻川について今年九月初めて土木事務所より、計画を聞いた。二瀬橋から槻川橋まで、町道があるが、この町道から10分程川を拡張するため、蝶の里公園、町の第2水源にかかっていた。

渋谷 国立婦人教育会館側の左岸は岩盤である。水防の河川工事をする必然性はないか。

答え 左岸は岩盤であり、水防工事の必要性の有無を、土木事務所に検討するよう要望した。

渋谷 河川改修工事で第二水源がなくなる場合、町の水道事業の影響をどうするか。

答え 第二水源は町営水道の30%をしめる井戸である

嵐山町の水源は地下水による浅井戸で川の水位によって水量は違う。年数によって井戸の機能が低下することもある。代わる井戸があったと

しても現在の水量を確保できる保障はない。第二水源に代わる井戸が見つからなければ県の事業に協力できない。

渋谷 県の事業に対して、町は反対の意志表示はできないのか。

答え 町が希望して県の事業を行うということもあるし、補助金をもらうこともある。今回の事業には反対の意志表示は今の所しない。

学童保育・子ども減少への対応は



渋谷 子ども数が減少しているが、学童保育は、20人以上の児童数によって国、県の補助金を得て運営している。毎年、子ども数を確保できるかどうか父母は悩む。どう解決するか。

答え 子どもが規定数以下になった場合、担当課のみでは解決できない。まず、県に学童保育の重要性を説き、補助をお願いする。

渋谷 指導員の労災保険の補助を

渋谷 父母の要望により補助する。

専教セットの学校備品化は、ごみの減量という観点から、父母の要望があれば補充方法を考え、検討???

志木市や川越市では取り組んでいます。小学校低学年しか使わず、あとはゴミ、

高齢化・少子化社会にむけての地域づくりをどうするのか



介護疲れ、介護いじめをなくすには！！
のんびり構えていると間に合わないよ。

積極的な施策を

渋谷 高齢化・少子化社会に向けて各地区の子どもと、お年寄りのことを考えた集会所などの施設整備は。

答え ゲートボール場整備を行う際、子ども遊べるようする。

花壇作りなど地区の住民が楽しみながら整備できるよう計画。

渋谷 集会所は、会議室的な要素が強く、憩うには不適切だが。

答え 集会所の調査を行い、検討していく。

渋谷 365日の給食サービスの計画を。

答え 現在年間25回の配食サービスをしている。老人福祉計画では、1週間に1度のボランティアによる給食サービスが目標で、それが行えるようになってから検討する。

渋谷 ボランティアで給食サービスを行うのは無理である。週1回の給食サービスが実現してからでは、超高齢化社会に

は間に合わない、高齢者事業団、女性の仕事として毎日の給食サービスを事業化して対応を。

答え 将来的には主婦の有料ボランティアによる給食サービスになるかと思うが、当面は週1回のボランティアによる給食サービスが目標である。

渋谷 福祉は、縦割りの行政で行うものでなく、学校教育、都市計画と連携するものである。今後どう調整するのか。

答え 役場内で調整会議で縦割りの弊害をなくす努力をする。



地方分権の推進をどう進めるか

渋谷 地方分権の推進を考えた人づくりをどのように行うか。

答え 住民の多様なニーズに即応し地方の自立性と自主性を強化するため、研修、グループ作りを進める。

渋谷 住民の積極的な町づくりへの協力を得るには、住民活動を財政的

にも保障できる制度が必要だが。

答え 現在、町には「ふるさとづくり基金」がある。この基金は地域づくり団体の育成、ふるさとイメージアップにも使える。

「ふるさとづくり基金」を活用して対応できると思う。